

令和7年1月21日(火)
大崎タイムス掲載

三本木に新工場建設

ヤマセ電気 主にEV、HV部品生産

電子機器等製造「ヤマセ電気」（色麻町、菱沼厚社長）は、9カ所目の新工場「三本木工場」（仮称）を大崎市三本木字白坂に立ち上げる。自動車産業の県北部への集約に伴い新規受注が増えているほか、災害リスクの分散化を図るのが狙い。新築に伴う地鎮祭が17日、現地で開かれ、関係者が無事故完成を願った。ことし11月の稼働を目指す。

ことし11月稼働目指す

既存の美里工場（美里町）、松山工場（大崎市松山）で新規受注が増えて手狭になって

いるほか、地震や水害の頻発化、激甚化を受けて新たな生産拠点の建設を決めた。大崎市の紹介もあり、東北道三本木スマートインターチェンジに近い高台を選んだ。

工事は10日に始ま



くわ入れをして無事故完工を祈願する菱沼社長

敷地面積6986平方
。建物は鉄骨造2階
建てで、延べ床面積4

539平方。屋根全
面を太陽光発電パネル
で覆うほか、蓄電池を
備え、災害による停電
時も外部との通信がで
きる。

従業員は100人ほ
どでスタートし、新規
採用などで将来的に1
50人まで増やす予

定。自動化を進めて生
産性向上を図りなが
ら、主に電気自動車(E
V)やハイブリッド車
(HV)向け部品を生
産する。

地鎮祭は建設を請け
負う村田工務所（大崎
市古川、村田秀彦社長）
が主催し、30人余りが
参列。菱沼社長らがく

わ入れなどを行い、工
事の無事完工を祈願し
た。

菱沼社長は「自動車
関連部品の受注増に加
え、災害の頻発化を踏
まえ、この地が適して
いると判断した。創業
から53年を迎え、次に
向け飛躍したい」と話
していた。



新工場の完成予想図